

認知症作業療法 活動報告 (概要)

福島県作業療法士会では、研修会を中心とした活動を今年度も行なっています。アセスメントや具体的なアプローチ方法等専門性の向上を目指し、事例を用いての研修会を開催予定しています。また今年度は初期集中支援チームについての研修会を開催しましたが、今後も国の方策等必要と思われる研修会を企画していく予定です。UD研修会は3年間行いほぼ終了したと判断しました。今後は3年に1度、生涯教育の一環として開催をしていくことにしました。

認知症と家族の会への賛助会員となりました。個人としてだけでなく団体としても、当事者や家族、地域力の向上などに協力をしていきます。

認知症研修事業

今年度も福島県の地域医療介護総合確保基金事業を申請し「認知症介護に携わる人材育成のための研修」を2回開催(予定)。認知症の方への支援は多職種協働が基本になりその為に、多職種合同の研修会を企画しています。

第1回は9月29日に認知症初期集中支援チームをテーマに開催しました。チームドクターから基調講演をして頂き、その後シンポジストに社会福祉士、看護師、作業療法士の方にそれぞれの所属するチームの現状や特色、作業療法士に期待する事等を報告していただいた。第2回は事例を用いて事例検討を多職種でグループワークを中心に行なう予定です。



認知症カフェ事業

OT士会主催のカフェは継続。その他のカフェにも運営委員などで参加協力を継続しています。

協力事業

市町村のイベントへの参加、認知症の人と家族の会の活動、県の若年性認知症施策部会、認知症医療介護連携推進会議委員などへの協力や予防教室や認知症サポーター養成講座への講師派遣をしています。

一般の方へ認知症を啓発する時に認知症サポーター養成講座として開催する事で行政とのつながりもできるため、キャラバンメイトの資格をとることを勧め徐々に増えています。

全県で行なわれている、認知症介護実践者等養成研修の福島県の指導者として、研修の企画に携わっています。



今後の展開

- ・ 認知症施策推進大綱が6月にだされました。

予防(発症を遅らせる、進行を遅らせる)などに作業療法士が、医療としての作業療法だけではなく生活の中での作業活動を他の職種に伝えていく。

アセスメント力(認知機能等の能力を見極めかつ生活機能を見極めることが出来る力)が求められるため、事例検討会で実践力をつけていきたい。